

平成 28 年度 埼玉県博物館連絡協議会南部地域 見学会 実施報告

平成 28 年 12 月 7 日 (水) 8 : 30 ~ 17 : 00

福島県文化財センター白河館 まほろん / 白河集古苑・白河小峰城

1 福島県文化財センター白河館 まほろん

(1) 東日本大震災による被災文化財保全事業についての講義

11 : 30 ~ 12 : 00 まほろん講堂

まほろんの指定管理者である公益財団法人福島県文化振興財団福島県文化財センター白河館学芸課長本間氏から、まほろんの概要や被災文化財の保全事業について、講義をいただいた。

東日本大震災直前に発足したふくしま歴史史料保存ネットワークについて、東日本大震災、福島第一原発事故による福島県内の文化財や博物館施設の被害状況と効果のあった防災対策、被災文化財レスキューの過程、そして現在の被災文化財保全事業などについて、豊富な写真や具体的なデータによってお話しいただいた。

災害で混乱した状況のなかでの文化財保護行政のあり方、これまでの経験のなかった放射能汚染からの文化財レスキュー、被災文化財の「震災遺産」としての活用、また避難などによるコミュニティ存続の危機における有形・無形の文化財の意義など、災害への対応マニュアルを検討している埼博連にとって非常に参考になる講義だった。



まほろん館内



講義風景

(2) 展示等自由見学 12 : 00 ~ 13 : 00 常設展示室

食卓の歴史的変遷や道具の復元展示など特色ある常設展示や、東日本大震災と復興に関して実施されている、福島第一原発事故に伴う旧警戒区域から移送した文化財による「ミニ文化財復興展」、東日本大震災で崩壊した国指定史跡小峰城跡の石垣復旧の取り組みに関する展示、また企画展示室で開催中の、戦国時代から安土桃山時代にかけての城館跡に関連する福島県内外の資料による、まほろん15周年記念指定文化財展「城跡の考古学」を見学した。



ミニ文化財復興展



小峰城跡復旧の取り組みに関する展示

(3) 被災文化財仮保管施設の見学

13:00 ~ 13:30 被災文化財仮保管施設

公益財団法人福島県文化振興財団の山内氏の案内により、原発事故による立ち入り制限区域（双葉町、大熊町、富岡町）から移出された文化財を保管する、被災文化財仮保管施設の見学を行った。施設・設備の概要や保全事業の具体的な手順についてお話しをいただいた。無人の状態での盗難防止、獣虫害防止、温湿度管理が、放射能汚染地域での文化財レスキューの主眼となるといった事業の目的や、仮保管施設の温湿度管理の運用方法などをうかがった。文化財レスキュー事業のみならず、保存庫建設・運用のさいの実際についても学ぶことができた。



仮保管施設外観



仮保管施設内部



仮保管施設内部



集合写真

2 白河集古苑・白河小峰城 14:00～14:45

鎌倉時代から室町時代にかけて活躍した白河結城家の古文書と、江戸時代に忍藩主・幕府老中を輩出した譜代大名阿部家の資料を収蔵する白河集古苑の企画展「縁起ものの美術」、国指定史跡白河小峰城跡の復元天守や東日本大震災で崩壊した石垣の復旧作業を自由見学した。



小峰城跡石垣復旧工事



集合写真

- 参加者

見学会の参加者は14名だった。